

◆令和元年度事業報告◆

【第一号議案】

令和元年度事業経過報告について

宮城県内の多くの医療機関および健診機関等において、均質で良質な臨床検査を患者に提供するためには、県内唯一の臨床検査技師の職能団体である（一社）宮城県臨床検査技師会が会員の知識や技術を向上させる環境、臨床検査の品質を評価、教育する体制の整備と維持が非常に重要である。

本年度は執行部 2 年目での活動となり、新任理事と経験豊富なベテラン理事との連携や各担当理事間の協働活動がうまくまわった 1 年間であった。一方で、10 月 12 日に日本に上陸した台風 19 号は宮城県内でも大きな被害を発生させた。県南部の病院では、1 階部分の浸水により、医療機器の故障など甚大な被害を受け、いまだに臨床検査室の完全復旧には至っていない。

（一社）北海道臨床衛生検査技師会より災害義援金 50 万円が当会に寄贈された。これを財源とし、特に被害の大きい県南部の会員施設へ必要備品を贈呈した。

第 51 回みやぎ医学検査学会（藤巻学会長、東北大学医学部開設百周年記念ホール）は「私は臨床検査技師 2」～主体性×多様性×可能性～というテーマで新緑の 6 月に開催された。学術部門を中心に学会企画および運営を行われ、一般演題 35 題、参加人数 300 名超えと盛会であった。

公益事業部では、第 6 回「検査と健康展」が 11 月に開催され、臨床検査技師による検査と説明を行うことで、のべ 542 名の来場者に臨床検査技師をアピールできた。物忘れプログラムのコーナーでは、パネルや臨床検査技師による説明を行い、認知症の早期発見に関して啓発できた。また、昨年同様、HIV 迅速検査の協力、ピンクリボン推進委員会、県内自治体の「国民健康栄養調査」等に積極的に協力した。

学術部では、各担当理事と各部門長とが十分に連携をはかりながら、年間を通してバランスよく研修会を企画できた。新たな試みとして、講演形式以外に実習やライブレクチャーの企画、宮臨技精度管理調査結果を反映したアドバイスと補習を兼ねたフォローアップ研修会等を実施した。また、参加者によるアンケート調査を実施し、参加者のニーズを把握した。一方、本邦における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大傾向を受けて、非常に残念であったが、年度末に予定していた学術研修会を中止と判断をすることになった。

精度管理部では、例年通り宮城県内の医療機関・検査機関へ試料を配布し調査を実施し、二次サーベイあるいはフォローアップ研修を実施し、検査精度の継続的な品質向上を目指した。一方、本事業の維持継続に向けて有料化の必要性とその妥当性を検討した。

広報部では、ホームページ、ニュースみやぎの発行を通して、技師会活動の情報提供を行った。また、Facebook への宮臨技ページを開設し、SNS による迅速な情報発信にも努めた。

【総務部】

1. 総務・法規・組織

- 1) 会務の執行体制は、7 部門（学術部、精度管理部、広報部、総務部、会計部、公益事業推進部、事務局）で行なった。
- 2) 移行法人（公益目的支出計画実施中の一般社団法人）として、公益目的支出計画実施報告書などの定期提出書類の作成を行なった。
- 3) 役員推薦委員会を設置した。また、役員選任規定の修正を行った。

2. 各種表彰

1) 青木賞（第 51 回みやぎ医学検査学会奨励賞）

第 51 回みやぎ医学検査学会にて発表された一般演題から選考をおこない、中村一樹会員（宮城県立こども病院）に決定した。

2) その他表彰

なし

【事務局】

1. 事務局運営について

- 1) 第 51 回みやぎ医学検査学会を開催した。会員のご尽力のお陰で、大盛況のもと、幕を下ろすことが出来た。
- 2) ホームページ更新については各部門と連携を図り、常に迅速な更新、最新の情報を提供できるよう努めている。
- 3) 定期便発送の見直しを行い、施設発送への集約を行った。日臨技会員情報管理システムの一斉メール機能を活用し、会員への情報提供に努めた。
- 4) 災害安否確認システムに不具合が生じ、運用不可能となった。理事会にて検討し、使用状況と登録状況（34 名）を鑑み、修復は行わずに機能終了とした。災害時等には、日臨技会員情報管理システムの一斉メール機能の活用を想定する。

2. 令和元年度の各種開催会議

- 1) 令和元年度 定時総会 令和元年 6 月 2 日（日） 仙台市急患センター 2F ホール
- 2) 理事会 5 回

3. 生涯教育研修事業（資料 1、2）

学術部開催研修会や各種共催研修会に多くの会員が参加し、スキルアップが図られた。研修会件数は 46 件（前年度 44 件）、公益事業関連 20 件（前年度 19 件）となっている。今年度末の生理検査部門研修会 1 件、精度管理報告会・研修会、共催研修会 1 件が新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。公衆衛生、情報システムの行事登録がなく来年度以降の課題である。学術部門の企画力に期待したい。

【公益事業部】（資料 3、4）

1. 日臨技主催、宮臨技実施事業

「検査と健康展」について

令和元年 11 月 9 日、第 6 回「検査と健康展」をイオンモール富谷にて開催し、32 名の実務委員と日本臨床検査専門医会より派遣された医師 2 名が参加した。検査体験コーナーでは、臨床検査技師による説明を行いながら延べ 542 名の方に検査を体験していただいた。実施している検査項目の簡易説明書を作成し、臨床検査に興味を持ってもらえるように工夫した。物忘れプログラムのコ

ナーでは、パネルの設置や臨床検査技師による説明を行い、認知症の早期発見について知ってもらう機会となった。来場者アンケート集計結果では、多くの方に満足していただいた。

2. 関連団体支援事業

- 1) HIV 検査普及支援事業として参画している 6 月と 12 月の年 2 回、県内 7 保健所と塩釜保健所管内の岩沼、黒川支所、そして青葉区保健福祉センターでの HIV・梅毒迅速検査の実施協力を行った。青葉区保健福祉センターで開催される仙台市エイズ・梅毒即日検査会の受検者数はここ数年増加しており、6 月 153 名、12 月 185 名であった。県内保健所では、受検者数増加を目的として今年度は日曜日に開催された。
- 2) 令和元年 10 月 27 日、「もっと知ろうよ乳がんのこと」と題したピンクリボン講演会が開催され、当会もピンクリボン推進委員会の一員として、ボランティア活動に参加した。講演会は、乳癌の早期発見・早期治療の大切さを伝えることを目的として開催された。当会では、乳がん等に関するクイズコーナーを担当し、がんに対する啓発活動を行った。
- 3) 例年参加していた大崎市健康と福祉のつどいは、台風の影響で中止となった。
- 4) 「国民健康栄養調査」における血液検体の取り扱いに関しては、塩釜市、多賀城市、登米市からの依頼があり、3 名の検査技師を派遣し、採血検体処理業務等を担当した。

【学術部】（公益目的支出計画事業）

1. 第 51 回みやぎ医学検査学会

第 51 回みやぎ医学検査学会は、東北大学病院の藤巻慎一会員を学会長とし、2019 年 6 月 23 日（日）東北大学医学部開設百周年記念ホール（星陵オーディトリウム）を会場に開催した。テーマを「私は臨床検査技師 2」～主体性×多様性×可能性～として、一般演題 35 題、ランチョンセミナー 2 題、教育講演 1 題、特別講演 1 題、学会特別企画として RCPC が行われた。参加者数は 302 名であった。多くの参加者に恵まれ、盛況のうちに無事終了した。

2. 研修会・講習会等（資料 5、6）

宮城県臨床検査技師会学術部は、会員の知識向上と検査技術のレベルアップを目的に研修会の企画・運営を行ってきた。開催数は主催 30 件、共催 16 件であった。主催研修会への参加登録数はのべ 1380 名で、昨年度より減少しているが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大リスクを考慮し、延期または中止した研修会もあり、その影響と思われる。開催場所は仙台市が 29 件、塩釜市が 1 件と仙台市内の開催が多かった。分野別にみると、生理部門 5 件、生物化学部門 3 件、病理部門 3 件、細胞診部門 2 件、血液部門 2 件、輸血部門 3 件、一般部門 3 件、微生物部門 2 件、遺伝子・染色体部門 3 件、総合部門 2 件、教育・管理運営 2 件で、生涯教育点数別には専門課程が 28 件、基礎課程が 2 件であった。研修会の内容別にみると、ほとんどが講演形式であったが、実習やライブレクチャーも実施し、昨年度よりも更に充実した内容であった。また宮臨技精度管理調査結果を反映したアドバイスと補習を兼ねたフォローアップ研修会、他団体との共催研修会など例年同様実施した。

今年度の研修会・講習会は、昨年度から実施している研修会参加者を対象としたアンケート調査の結果をもとに、学術各部門が活発に企画・運営したことにより、主催研修会の開催件数が増加した。来年度以降もアンケート調査を継続し、会員のニーズを把握すると共に、多くの会員が参加する研修の場を提供したい。

【精度管理部】（公益目的支出計画事業）

1. 精度管理事業

令和元年度実施業務の内容

以下の通り令和元年度の精度管理調査を実施した。

○実施日程

- | | |
|---------------|---|
| (1) 申込み締め切り日 | 令和元年 7 月 23 日（火） Web でのみ受付 |
| (2) 試料発送日 | 令和元年 10 月 14 日（月） 発送日翌日到着 |
| (3) 回答締め切り日 | 令和元年 10 月 27 日（日） 24 時まで Web でのみ受付 |
| (4) 解析結果閲覧開始日 | 令和元年 11 月 25 日（日） |
| (5) 全体報告書発行 | 令和 2 年 3 月 4 日（水） 参加施設へ送付 |
| (6) 報告会の開催 | 令和 2 年 3 月 14 日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を鑑み、中止 |

○調査項目

臨床化学：AST,ALT,LD,ALP, γ GTP,CK,Na,K,Cl,Glu,TG,HDL-C,LDL-C,TC,CRE,UN,UA,
AMY,ChE,Ca,ALB,TP,TBIL,IP,Fe,CRP, HbA1c の 27 項目

血液：CBC（WBC,RBC,HGB,HCT,PLT,MCV,MCH,MCHC の 8 項目）および画像サーベイ
一般：静止画像サーベイ（尿沈渣等）

微生物：感染症原因菌の同定、感受性試験、画像サーベイ

輸血：ABO 式、RhD 式血液型検査、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定

生理：静止・動画画像サーベイ（心電図、頸部超音波、心臓超音波、腹部超音波）

病理：未染色標本による染色サーベイ

細胞診：静止画像サーベイ

○参加施設

臨床化学 124、血液 125、尿一般 99、微生物 32、輸血 72、生理 101、
病理 23、細胞診 23、回収施設総数 138。詳細は報告書を参照下さい。

○精度管理調査アドバイザーの選任について

昨年度に引き続き、精度管理調査統括及び生理部門、病理部門、細胞診部門でアドバイザーを選任にした。出題方法、評価基準、報告書の作成に助言を頂き、精度管理調査を円滑に実施する事ができた。今後の精度管理調査においても、検査精度の継続的な品質向上につながる仕組みを構築していきたい。

○経費削減の取り組みについて

精度管理報告書の冊子を廃止し、CD で各施設へ配布した。また、精度管理試料の準備数の適正化を図るとともに消耗品についても、材料の見直しや相見積もりを行うことで経費削減の取り組みを行った。

2. 精度保証施設認証

平成 23 年度から宮臨技精度管理調査の実施項目は、精度保証施設認証制度の基準を満たしている。

現在、精度保証施設認証制度の手続きは、申請書を日臨技ホームページからダウンロードし、申請書類を直接、日臨技に送付する必要がある。申請の条件の 1 つである日臨技精度管理調査及び宮臨技精度管理調査において、申請条件を満たしている施設においては「適」書を JAMTQC システムからダウンロード可能である。「適」書がダウンロード可能施設においては、精度保証施設認定の申請をお願いしたい。令和元年 10 月現在の宮城県の認証施設は 16 施設であり、昨年度より 1 施設増加しているが、全国的にみると多いとは言えない状況である。県内での申請可能な施設は 55 施設ある。今後は精度保証施設認証の取得について、学部と協力しながらサポート体制を整えたい。

○令和元年度審査日程は次のとおりだった。

日臨技 申請受付期間	令和元年10月 1日（火）～11月29日（金）
精度保証認証委員会審査期間	令和元年12月 2日（月）～12月27日（金）
執行理事・理事会審議、承認	令和 2 年 1月上旬～2月上旬
承認通知、認証料請求書発送	令和 2 年 2月中旬～下旬
認証書発送	令和 2 年 3月下旬

申請受付期間については、宮臨技ホームページでもお知らせをするとともに定期便等で案内を行う。

【広報部】

1. 広報事業

ホームページ、ニュースみやぎの発行を通して、技師会活動の情報提供を行った。

- ・「ニュースみやぎ」は No96 号を発行。学会情報や青木賞受賞感想、小川しんじ決起集会などを掲載。
- ・ホームページでは情報開示タブに理事会議事録掲載頁を追加し、迅速な情報提供を行った。
- ・Facebook への宮臨技ページを開設し、SNS による迅速な情報発信にも努めた。一日に約 20 回程度の閲覧がある。
- ・会員の教育や学術活動への迅速な情報公開・発信など、会員連絡や公益事業協力者募集など各部門と連携した。

【会計部】

1. 会員管理

令和元年 3 月末日現在の会員数は 1112 名、賛助会員は 47 社であった。

3 月 25 日に令和 2 年度会費 1043 名分が日臨技より送付された。

2. 会計処理

公益法人会計基準に則して処理を行った。主な会計方針については【財務諸表に対する注記】を参照していただきたい。

資料 1. 宮城県臨床検査技師会主催・共催行事登録

分野	行事登録数	会員合計(人)
微生物	6	116
免疫血清	3	90
血液	2	73
臨床化学	5	214
病理	4	121
細胞	2	36
生理	10	462
一般	3	142
公衆衛生	0	0
輸血	3	100
情報システム	0	0
遺伝子、染色体	3	84
管理運営	5	45
教育	0	0
チーム医療	2	62
学会	1	234
総会	1	60
公開講演	0	0
公益事業	20	44
その他	3	55
計	73	1938

資料 2. 宮城県臨床検査技師会後援行事登録

行事名	開催日・開催期間	登録者数
「HIV 検査普及週間」に係る HIV・梅毒迅速検査	2019/6/1～6/14	6
検査と健康展	2019/11/9	32
国民健康・栄養調査	2019/11/6～11/22	3
「世界エイズデー」に係る HIV・梅毒迅速検査	2019/12/1～12/7	5

資料 3. 公益事業活動

行事名	開催日	開催場所	参加者数	協力施設
令和元年度 全国「検査と健康展」	2019/11/9	イオンモール 富谷	32	仙台市立病院 大崎市民病院 石巻赤十字病院 公立刈田総合病院 坂総合病院 JCHO 仙台南病院 仙台オープン病院 東北大学病院 東北労災病院 宮城県南中核病院 宮城県立こども病院 坂総合クリニック 仙台市急患センター 東北医科薬科大学若林病院
令和元年度国民健康栄養調査	2019/11/6 2019/11/11 2019/11/22	塩釜市 多賀城市 登米市	3	仙台市立病院 美里町立南郷病院 仙台オープン病院

資料 4. HIV 支援事業

行事名	開催日/ 開催期間	開催場所	参加者 数	協力施設
「HIV 検査普及週間」 に関わる仙台市 HIV・ 梅毒即日検査会	2019/6/1	青葉区保健福祉センター	2	東北大学病院
「HIV 検査普及週間」 に係る県保健所 HIV・ 梅毒迅速検査	2019/6/4	仙南保健所	1	公立刈田総合病院
	2019/6/4	塩釜保健所岩沼支所	1	総合南東北病院
	2019/6/4	登米保健所	1	登米市民病院
	2019/6/14	大崎保健所	1	大崎市民病院
「世界エイズデー」に 関わる仙台市 HIV・梅 毒	2019/12/7	青葉区保健福祉センター	1	仙台市立病院

即日検査会				
「世界エイズデー」に係る県保健所 HIV・梅毒迅速検査	2019/12/1	仙南保健所	1	公立刈田総合病院
	2019/12/1	大崎保健所	1	美里町立南郷病院
	2019/12/1	登米保健所	1	登米市民病院
	2019/12/1	気仙沼保健所	1	気仙沼市立病院

資料5. 共催研修会

令和元年度 共催研修会

開催日時	行事名	参加登録数
2019/4/20	杜のみやこ臨床化学研究会 4th ～第4回～	18
2019/6/15	第1回北日本 CVT の会（北海道・東北 CVT 合同研修会） 「脈管疾患を北日本チームで診る！」～講義・実演・実技で学ぶ研修会～	60
2019/6/22	杜のみやこ臨床化学研究会 4th ～第5回～	47
2019/7/13	第6回 宮城県検査から診断・治療を考える会 ～主訴から病態を診る～	12
2019/7/27	第51回日本臨床検査医学会 東北支部総会	43
2019/8/2	肝疾患の検査と治療	36
2019/8/24	杜のみやこ臨床化学研究会 4th ～第6回～	21
2019/9/13	第9回宮城医療安全研究会	7
2019/10/12	杜のみやこ臨床化学研究会 5th ～第1回～	23
2019/11/2	第7回 宮城県検査から診断・治療を考える会	7
2019/12/7	第9回 東北病理技術研修会	110
2019/12/14	杜のみやこ臨床化学研究会 5th ～第2回～	38
2020/1/25	第19回 東北臨床感染症研究会	14
2020/2/1	第9回 東北 CVT の会	60
2020/2/8	第8回 宮城県検査から診断・治療を考える会	12
2020/2/8	第25回 東北感染症研究会	11
2020/2/29	日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会	中止

資料6. 学術部主催研修会

令和元年度 宮城県臨床検査技師会主催研修会一覧

開催日	行事名	開催場所	参加登録数
2019/4/20	生理検査部門研修会 「心エコースーパーライブレクチャー ～もう一度見直そう！基礎計測～」	仙台市立病院 3階講堂	88

2019/4/21	平成 30 年度細胞診精度管理フォローアップ研修会	東北大学医学部 臨床小講堂	27
2019/5/25	一般検査 フォローアップ研修会 “日当直で誰にも聞けない疑問も解決”	仙台市立病院 本院 3 階第 2 会議室	41
2019/6/1	生物化学分析部門研修会「日当直時の生化学検査」	東北医科薬科大学病院 大会議室	60
2019/6/2	特別講演会 『知っておきたい肝疾患の最新治療』～当院における院内連携の取り組み～	仙台市急患センター 2F ホール	46
2019/6/8	血液部門研修会 『日当直に役立つ！血算・凝固検査データの 見方、考え方』	東北大学医学部 6 号館 1 階講堂	57
2019/6/9	平成 30 年度輸血部門精度管理調査フォローアップ研修会	東北労災病院 多目的ホール（8 階）	35
2019/6/15	平成 30 年度病理組織検査精度管理フォローアップ研修会	東北医科薬科大学病院 大会議室	37
2019/6/15	臨床検査総合部門研修会 「認知症を知る～はじめの一步～」	東北大学医学部 臨床講義棟内 臨床中講堂	45
2019/6/29	生理検査部門研修会 「腹部エコースーパーライブレクチャー～ 肝胆膵編～」	仙台市立病院 3 階講堂	80
2019/7/14	微生物部門研修会 「アンチバイオグラムの作り方・使い方」	東北大学 医学部保健学科 大講義室	53
2019/7/20	生物化学分析部門・遺伝子・染色体部門 合同研修会「肝炎と遺伝子検査」	東北大学医学部 1 号館 第 1 講義室	42
2019/7/27	病理細胞診部門研修会 「特定化学物質のリスクアセスメントと作業 環境測定の実態について」	宮城県立こども病院 愛子ホール	36
2019/9/7	生理検査部門研修会 「もう一步踏み込む！心電図のノウハウ講座」	仙台市立病院 3 階講堂	110
2019/9/8	輸血検査部門研修会 「初級者・宿日直者向け輸血実技研修会」	東北大学医学部保健学科 A 棟	20
2019/9/14	血液検査部門研修会 「末梢血液像の見方を学ぼうー基本のき(白血球 5 分類を中心に)ー」	東北大学医学部保健学科 208 (検査総合実習室)	19
2019/9/21	一般検査部門研修会	仙台市立病院 本院 3 階 第 2 会議室	44

	「1人でもサーベイでも怖くない！～実症例によるスライドカンファレンス～」		
2019/9/28	生理検査部門研修会 「即実践！ライブと症例で学ぶ呼吸機能検査」	仙台市立病院 3階講堂	78
2019/10/19	遺伝子・染色体部門研修会 「遺伝子・染色体検査の実際～当院での運用方法について～」	東北医科薬科大学 医学部（福室キャンパス） 第1教育研究棟中講義室	22
2019/10/26	生物化学分析部門研修会 「糖尿病を深く学ぶ」	東北医科薬科大学病院 大会議室	41
2019/11/10	生理検査部門研修会 「これで完璧！医用超音波の基礎講座」	仙台市立病院 3階講堂	60
2019/11/10	臨床検査総合部門研修会 検査と健康展 特別企画	仙台市急患センター 5F	38
2019/11/30	病理細胞診部門研修会 「細胞診の基礎と顕微鏡実習」	東北医科薬科大学 医学部（福室キャンパス） 病理学実習室	18
2019/11/30	生物化学分析部門研修会 「常用基準法改定に備える ～JSCC から IFCC へ(ALP, LD)～」	東北大学医学部 1号館 第1講義室	70
2019/12/7	臨床検査総合部門研修会 「第2回 認知症を知る～はじめの一步～」	坂総合病院 2階 セミナー室	21
2019/12/21	微生物部門研修会「嫌気性菌勉強会」	東北大学 医学部保健学科 A棟 1階大講義室（講義） 4階病原検査実習室（実習）	34
2020/2/8	遺伝子・染色体/病理・細胞診部門 合同学術研修会「FISHの基礎と技術講習」	東北医科薬科大学病院 多目的棟 大会議室	26
2020/2/8	輸血検査部門研修会「輸血検査における問題 解決のプロになろう ～予期せぬ反応に対し あなたは何を考える？～」	東北労災病院 多目的ホール（8階）	50
2020/2/9	一般検査部門研修会 「便潜血検査・尿路感染症・寄生虫検査を学ぶ」	仙台市立病院 本院3階 第2会議室	59
2020/2/15	病理細胞診部門研修会 「基本の組織像と顕微鏡実習」	東北医科薬科大学 医学部（福室キャンパス） 顕微鏡実習室料	23
2020/2/29	生理検査部門研修会	坂総合病院 2階 教育ステーション	延期

	「ライブレクチャーで学ぶ末梢神経伝導検査」		
2020/3/14	令和元年度宮臨技精度管理報告会	仙台市急患センター2F ホール	延期
2020/3/14	令和元年度宮臨技精度管理研修会	仙台市急患センター2F ホール	延期